



2026 年 7 月 31 日

報道関係各位

丸の内熱供給株式会社

「大手町ゲートビルサブプラント」竣工

＜日本橋川の下に洞道を新設、当社初となる内神田一丁目への供給を開始＞
高効率機器の導入によるエネルギー効率向上とともに、無人遠隔巡視点検をスタート

丸の内熱供給株式会社※1は、大手町地域の新たな地域冷暖房施設※2を2026年7月31日(金)に竣工しましたのでお知らせ致します。この度竣工した大手町ゲートビルサブプラントは、三菱地所株式会社が開発を進め、「江戸の記憶を受け継ぎ、都市の接続と新たな賑わいを生み出す結節点」として同日に竣工した大手町ゲートビルディングに当社が設置する温水製造用地域冷暖房施設です。

当プラントの竣工により、内神田一丁目へ供給を開始することに伴い、地域配管延伸を行い大手町区域の拡張をしました。また、設備点検の遠隔化および省力化を目的とした取り組みを積極的に導入し、新設した熱供給洞道においては業界初となる遠隔・自動巡視点検ロボット「トリノス」の運用を開始し、平常時の洞道点検や非常時の迅速な状況把握を可能とします。

当社はこれからも地域冷暖房を通じて、大丸有エリアの低・脱炭素化に取り組むとともに、災害時の業務継続能力の向上に貢献してまいります。

大手町ゲートビルサブプラントの特徴

【1】最新の高効率機器導入によるエネルギー効率向上

大手町ゲートビルサブプラントに設置する空気熱源ヒートポンプには業界トップクラスの高効率機器を導入しました。大手町地域の更なる総合エネルギー効率の向上に寄与するとともにCO2排出量削減に貢献します。



空気熱源ヒートポンプ

【2】当社初となる神田エリアへの供給

大手町熱供給区域を拡張し、内神田一丁目への地域配管延伸を行いました。地域配管を敷設する熱供給洞道は、三菱地所株式会社が開発を進めていた南北全長約120mに及ぶ洞道※2で日本橋川の下越しに大手町と内神田一丁目をつなぐように建設されました。



洞道

【3】DX推進による設備点検の遠隔化および省力化の取り組み

従来は設備技術員の日常巡視点検で確認していた温度や圧力等の数字を自動で中央監視装置へ取り込み、またプラント内への監視カメラ設置により、監視拠点である大手町センターから遠隔にて設備点検を実施できるようにしました。監視カメラはAI連携可能な機種を導入し、将来はAIソフトとの連携により漏水や異常検知を行う予定です。また、当社が開発にあたり洞道点検の機能や操作性において監修をした“遠隔・自動巡視点検ロボット「トリノス※」”を第1号として導入し、平常時の洞道点検や非常時の迅速な状況把握に活用し、点検業務のDXを推進します。

※トリノスは当社が開発協力した株式会社 Liberaware の製品名称



＜本件に関する報道関係の方のお問合せ先＞

丸の内熱供給株式会社 人事総務部 担当: 広報担当

TEL: 03-6262-3775(代表)

※本リリースは、経済産業記者会・国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会、都庁記者クラブに配布しております。

大手町ゲートビルサブプラントの概要

- (1)所在地: 東京都千代田区内神田一丁目 1 番 16 号 大手町ゲートビルディング
 (2)供給エネルギー: 冷水・温水
 (3)プラント熱源容量:

温熱源機器	暖房能力	台数	合計容量	
	kW		kW	MJ/h
空気熱源ヒートポンプ	180	7	1,260	4,536
合計			1,260	4,536



大手町ゲートビル外観

(4)工期: 2022 年 2 月 1 日(着工)~2026 年 7 月 31 日(竣工)

(5)設計監理 株式会社三菱地所設計

施工者 (建築) 大成建設株式会社

(機械設備) 新菱冷熱工業株式会社

(電気設備) 株式会社関電工

メーカー 空気熱源ヒートポンプ 日本キャリア株式会社

(6)大手町地域冷凍機供給能力合計: 約 59,000RT

(7)大手町地域供給延床面積: 約 329 万 m²

～街と歩む 街を支える～ 大手町・丸の内・有楽町エリアのエネルギー環境を支えて 50 年 世界に誇る進化を続けるエネルギーネットワーク

- ※1. 丸の内熱供給株式会社: 1973 年に三菱地所株式会社をはじめとするエリア内の地権者(設立時 20 社)が中心となって設立され、1976 年に地域冷暖房プラントから熱供給を開始以来、大手町・丸の内・有楽町エリアの進化と共にエネルギーネットワークを整備(拡張・高度化・効率化)し、50 年に亘って 24 時間 365 日、日本経済の中核のビジネスを支え続けています。現在では 122ha のエリアで、ビル 69 棟・地下鉄 18 駅舎・12 施設の約 704 万 m²(東京ドーム約 151 個分)に冷暖房、電力を供給しています。
- ※2. 地域冷暖房施設: プラントで製造した冷水・蒸気などを地下トンネル(洞道)を通じて複数の建物群に供給して冷暖房を行うシステムです。大手町・丸の内・有楽町エリアの殆どのビルは当社から供給される蒸気・冷水で冷暖房を行っています。地域冷暖房システムは 1970 年に大阪で開催された日本万国博覧会で日本に初めて導入されました。



SUPER TUBEとは

当社では大丸有エリアの洞道および配管ネットワークを総称して「SUPER TUBE」と名付けました。この「SUPER TUBE」をエリアの強みの一つとして積極的なPR展開をしています。

MARUNETU VISION 2030

GROUP MISSION

私たちは、まちづくりを通じて社会に貢献します

MARUNETU VISION

『Beyond DHC!』
脱炭素社会へリードする 新しい丸熱へ

VALUE

▶ 更なる強靱化
途絶えることのないエネルギー供給

11 気象変化に耐えるエネルギー供給

▶ 省エネルギー
地域冷暖房のネットワークだからこそ実現できる最高水準の省エネルギー性

9 気象と地域環境の両方を考慮

12 つくも賢い つかう賢い

▶ 環境価値
低・脱炭素化先進地域 大丸有の実現

7 エネルギー・環境にやさしいエネルギー

13 自然環境にやさしいエネルギー

▶ エリアへの貢献
エネルギーについてワンストップで充実したサービスメニューと技術力

7 エネルギー・環境にやさしいエネルギー

12 つくも賢い つかう賢い

▶ 共創
三菱地所グループ内外のパートナーと共創し、低・脱炭素化社会を実現

17 パートナシップで脱炭素社会を実現

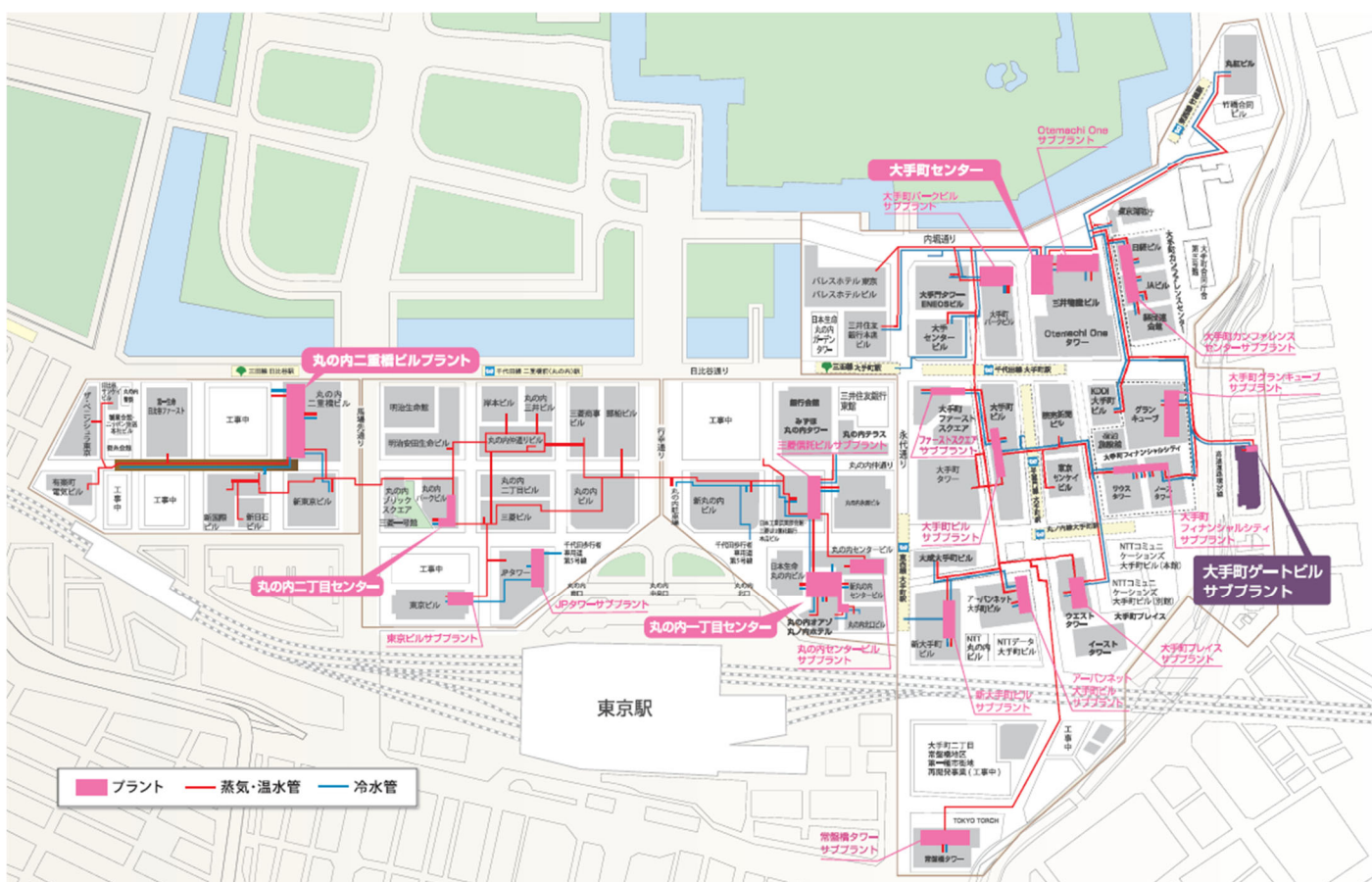
当社のさまざまな環境負荷低減の取り組み

- (1)冷水・蒸気のネットワーク化によるエネルギーの面的利用(スパイラルアップ効果※)
- (2)トップクラスの高効率機器の導入
- (3)ポンプ・ファン等のインバータ化
- (4)VWV-VM 最適制御による省エネルギー(需要側情報に基づく最適末端差圧制御)
- (5)CGS 排熱有効利用

排温水は吸収冷凍機の熱源水として利用、CGS からのインタークーラー冷却水はヒートポンプの熱源水として利用

- (6)AI 最適自動制御システムの導入による消費電力量削減
- (7)中水熱利用ヒートポンプによる温水製造効率向上
- (8)熱源水槽による排熱の有効活用

丸の内熱供給のエネルギーネットワーク



< 会社概要 >

○本社所在地: 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号(常盤橋タワー23F)

○TEL (03)6262-3775(代表) <https://www.marunetu.co.jp>

○設立日: 1973 年(昭和 48 年)7 月 31 日

○資本金: 2,775,000,000 円

○従業員数: 176 名(2026 年(令和 8 年)6 月 1 日現在)

○代表者: 取締役社長 千葉 太

○事業内容: 熱供給事業、中水道事業、電気供給業、工事請負及び関連コンサルティング業務

●供給面積: 122 ha

●供給棟数: 供給棟数: 69 棟・地下鉄 18 駅舎・12 施設

●供給延床面積: 約 704 万 m²